

こんにちは

会社訪問記

常にお客様の立場に立ち

適正処理を心がけています

有限会社森田商店(名古屋市中村区)

名古屋市郊外の静かな住宅地に立地し、産廃・一廃の両廃棄物処理を手がける有限会社森田商店。事業内容や今後の展望等を、森田社長と青年部でも活躍されている五箇取締役役にお話していただきました。

——まず、モットーを教えてくださいませんか。

森田社長(以下森田に略)『モットーは“安全対策・安全管理・適正処理”ですね。産廃は時として危険性の高



森田社長

い廃棄物が出る場合もあります。だから、徹底して安全性を追求しておかないといけません。私たちはお客様から委託を受けて業を行う者ですから、当然のことかもしれませんがね。』

五箇取締役(以下五箇と略)『もう一つ付け加えるならば“お客様の立場に立った仕事をしたい”ですね。』

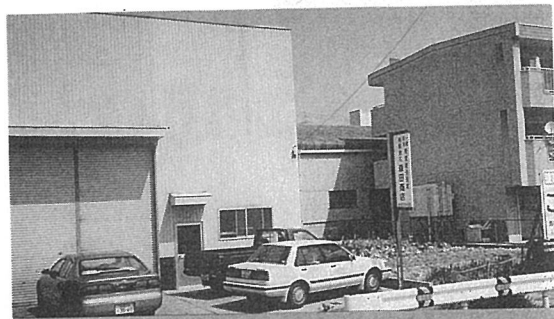
——現在、産廃と一廃の比率はどれくらいですか。五箇『半々ですね。なかなか一方に片寄ることはありません。』

——では、従業員教育はどうされていますか。

五箇『年1回、必ず従業員研修を行っています。安全対策や交通安全等をテーマに講習を行い、収集・運搬時のマナーも含めた総合的な勉強をさせています。やはり車を運転する以上、安全を心がけることが大切です。』

——現在の休日体制を教えてください。

五箇『日曜と隔週土曜休みです。産廃は極力土曜日は休み、一廃のみ営業するようにしています。』



社名/有限会社森田商店 所在地/名古屋市中村区中村町2-126
代表者/森田喜八郎 設立/昭和44年 従業員/7名
TEL/052(471)0586(本社) モットー/「安全対策・安全管理・適正処理」
保有車両/6台 事務所/本社・倉庫 営業種別/収集・運搬
取扱い品目/燃えがら、汚でい、廃プラスチック、ゴムくず、金属くず、ガラスくず等、建設廃材

一廃はどうしても毎日ゴミが出るので、休むわけにはいきませんから。』

——就業時間は何時から何時まででしょうか。

五箇『7時から4時半までです。』

森田『もちろん、仕事が早く終わった時はもっと早いですよ。定時は4時になっています。』

——近くにマンションや住宅がありますが、住民対策に何かやっていますか。

五箇『住民の皆さんの意識のなかに、まだ廃棄物処理業というだけで“汚い”とか“クサイ臭いがする”という偏見があると思うんですよ。実際、仕事は一日単位ですし、車両も毎日キレイに洗車しているのにもかかわらずです。しかし、私たちの仕事の義務は“人に不快な気分を与えない”ことだと考えていますので、車両を倉庫に入れることで対応しています。』

——ところで、社長と五箇さんは親子だとお聞きしたんですが。

五箇『私はいわゆる娘婿です。この質問はどこに行っても聞かれますよね。よく顔を合わせている人でもけっこう知らない方が多いみたいです。』

——最後にひとこと何かありましたら……。

五箇『みなさん、青年部に参加してみてくださいませんか。入って損はないと思いますから。』



五箇取締役